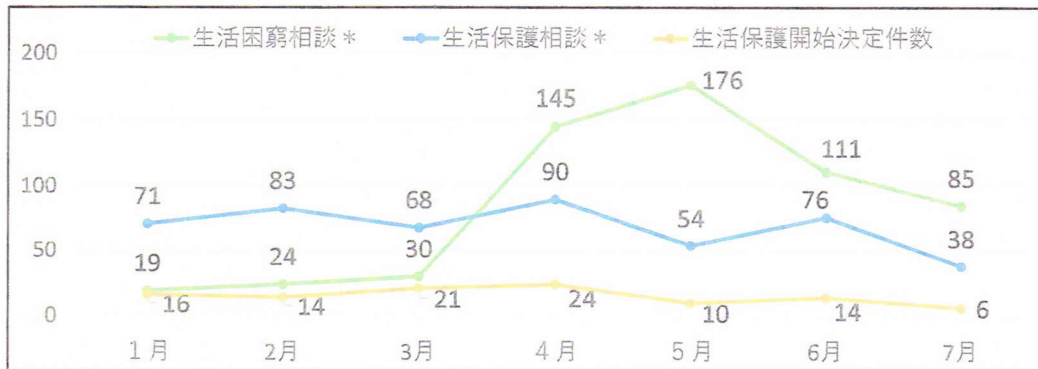


【生活支援課】相談・申請件数等の推移（令和2年1月～7月）

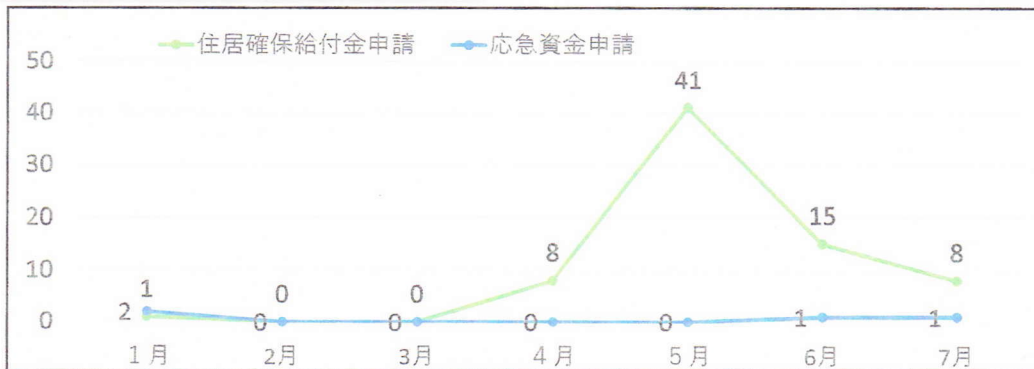
種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
1	生活困窮相談*	19	24	30	145	176	111	590
	生活保護相談*	71	83	68	90	54	76	480
	生活保護開始決定件数	16	14	21	24	10	14	105
2	住居確保給付金申請	1	0	0	8	41	15	73
	応急資金申請	2	0	0	0	0	1	4
3	緊急小口資金申請（社協）	0	0	5	91	110	76	324
	総合支援資金申請（社協）	0	0	1	9	30	45	122

\*相談は電話と来所の合計

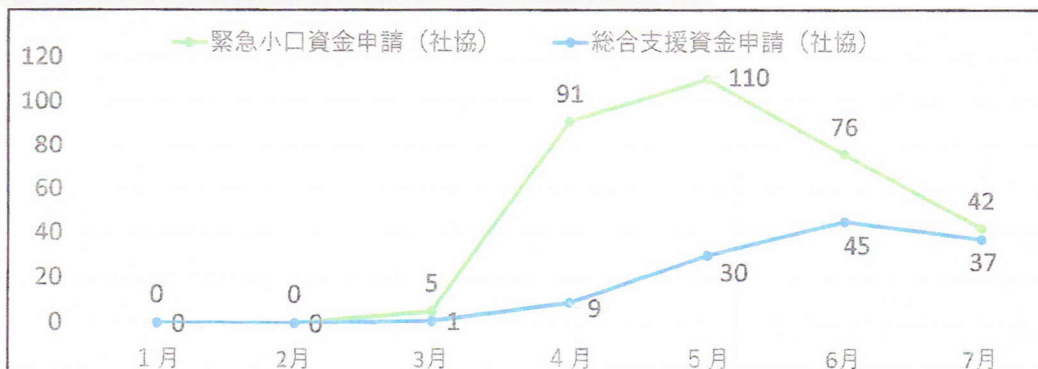
1 生活困窮相談、生活保護相談および生活保護開始決定の状況



2 住居確保給付金、応急資金の申請状況



3 緊急小口資金、総合支援資金の申請状況（社会福祉協議会）



## 東京都の経済情勢報告（抜粋）

（令和 2 年 8 月 4 日 財務省関東財務局 東京財務事務所）

### 1. 総論

【総括判断】「都内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では一部に下げ止まりの動きがみられる」

項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では一部に下げ止まりの動きがみられる	↗

（注）2年7月判断は、前回4月判断以降、足下（7月末）の状況までを含めた期間で判断している。

#### （判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、足下では下げ止まりの動きがみられる。産業活動は、足下では一部に下げ止まりの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足踏みの状況にある。

#### 【各項目の判断】

項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	↗
産業活動	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	足下では一部に下げ止まりの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	→
製造業	横ばいの状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	↘
非製造業	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	足下では一部に下げ止まりの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	→
雇用情勢	改善しており、人手不足感が続いている	新型コロナウイルス感染症の影響により、足踏みの状況にある	↘
設備投資	元年度は増加見込みになっている	2年度は増加見込みになっている	→
企業収益	元年度は減益見込みになっている	2年度は減益見込みになっている	→
企業の景況感	現状判断は、「下降」超幅が拡大	現状判断は、「下降」超幅が拡大	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	→

#### 【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。但し、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。